

## 1. 授業の概要(ねらい)

本講義では労働の文脈における人間の行動や心理に関する社会心理学の基礎的知見を学ぶ。  
産業・組織心理学Ⅰでは“個人”の心理メカニズムを中心的に主に扱ったのに対し、産業・組織心理学Ⅱでは、“組織”や“集団”に関するテーマを中心的に取り上げる予定である。

## 2. 授業の到達目標

- ・職場における問題(キャリア形成に関することを含む。)に対して必要な心理に関する支援を身につけることができる。
- ・組織における人の行動について理解することができる。
- ・近年の労働環境を取り巻く社会問題について関心を抱くことができる。

## 3. 成績評価の方法および基準

期末試験70%、課題30%で総合的に評価する。  
授業期間中に3回程度、復習のための課題を設ける。LMS上で提出フォームを作成し、提出してもらう予定である。  
出席が基準に満たない場合には期末試験の受験を認めない。

## 4. 教科書・参考文献

### 参考文献

田中堅一郎 編 産業・組織心理学エッセンシャルズ ナカニシヤ出版  
山口裕幸・芳賀繁・高橋潔・竹村和久 経営とワークライフに生かそう!産業・組織心理学 有斐閣  
幸田達郎 基礎から学ぶ産業・組織心理学 勁草書房

## 5. 準備学修の内容

講義で用いる予定のスライドをLMSで公開するので、予め目を通して予習しておくことを推奨する。  
また、各自取ったノートやLMSで公開しているスライドを読みなおして、前回までの学修内容を復習することを推奨する。

## 6. その他履修上の注意事項

例年、産業・組織心理学Ⅱは、産業・組織心理学Ⅰの合格者を対象としている。

第15回は期末試験とし、LMSの機能を使ってオンラインで実施する予定である。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 組織行動1: 集団の規範
- 【第3回】 組織行動2: 他者の影響
- 【第4回】 組織管理1: 職場における協調
- 【第5回】 組織管理2: 職場における葛藤の解決
- 【第6回】 組織アイデンティティ: 職場への所属意識
- 【第7回】 リーダーシップ1: リーダーシップの理論
- 【第8回】 リーダーシップ2: 権力, ハラスメント
- 【第9回】 集団意思決定1: 集団による問題解決
- 【第10回】 集団意思決定2: 合議がかかえる問題
- 【第11回】 集団意思決定3: 集合知
- 【第12回】 集団のダイナミクス1: 人々のつながりの特徴
- 【第13回】 集団のダイナミクス2: 人々のつながりのメリット
- 【第14回】 まとめ
- 【第15回】 期末試験(オンラインの予定)